



自分の命は自分が守る!そして...

1日(月)3・4校時に、須田保育所と合同で、消防及び地震・津波避難訓練を実施しました。大規模地震が起こったという想定で、まずは机の下に身を隠し、その後火災が発生したというアナウンスで運動場に避難しました。今年は、全クラスが2分30秒以内に避難を完了することができ、その後、代表者による消火訓練、シューターでの脱出訓練を行いました。最後に津波避難訓練として、須田保育所の保育所児61名を3年生のレスキュー隊が迎えに行き、一緒に中学校の校舎の4階へ避難しました。梅雨空の下での訓練になりましたが、みなさんが、真剣かつ迅速に行動できたので、予定の時間より早く終わることができました。



指導に来ていただいた消防署員の方からも、「ふざけることなく真剣に訓練することができていた。」とお褒めの言葉をいただきました。

そして、今後70%~80%の確率で南海トラフ地震が起こる可能性があるのも、もしもの時は、次の3点に気をつけて行動するようにと、ご指導を受けました。

- ① **まず、自分の身の安全を守る。**
- ② **次に、揺れが収まって避難する。**
- ③ **地域の住民を守れる人になってほしい。**

今回は、訓練だと分かっていたから素早く行動できたのかもしれません。緊急時には、先生方の指示を聞くことも大切ですが、自ら考え行動する必要があります。「自分の命は自分が守る」その意識をもってこそ、幼児を避難誘導したり、お年寄りを守ったりすることもできるのです。

ご家庭でも、いざという時の避難場所の確認など、災害発生時の行動について、話し合う機会を持っていただきたいと思います。

【避難訓練後に書いた生徒の感想から】

- 地震・火災・津波、どの災害でも静かにすばやくあせらず行動することが大事だなと思いました。(1年)
- 今日の防災訓練で教えてもらった消火器の使い方や避難の方法を覚えておいて、地震が起きた時に地域のお年寄りの人たちのためになれたらいいなと思った。(1年)
- 今日、みんなに言った「HOT(話さない・押さない・手すりを持つ)」を忘れず、本当に災害や火災が起こっても自分や周りの人がけがをしないようにしたいです。(2年)
- 小学校の時には、自分が守られる方だったけれども、中学生は、自分を守る、他の人を守り助けるというように私たちが必要になることが分かった。(2年)
- 毎年、同じように防災訓練をしてきたけれど、グラウンドにそろそろ時間が早くなっていると思いました。(3年)
- レスキュー隊の活動では、保育所の子がとてもかわいかっただけに、この子を守らなければならないという責任を感じました。本当に地震が起こった時も、小さい子どもたちを助け、自らの命も守りたいと思います。(3年)

総体激励会開催!

3日(水)6校時、総体激励会が行われました。各部の部長・キャプテンからの決意が述べられ、生徒会役員による応援や、校長先生からの激励がありました。

特に3年生にとっては最後の夏となります。精一杯のプレー、納得のいく演技や演奏をして、有終の美を飾ってほしいと思います。

